

平成26年度 第38回全国高等学校ハンドボール選抜大会

戦 評 用 紙

試合番号

15

男子 ・ 女子 2回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 スカイホール豊田 コート 岡崎中央総合公園総合体育館 Bコート

<p>高岡向陵</p> <hr style="width: 80%; margin: auto;"/> <p>チーム名</p>	<p>34</p> <hr style="width: 80%; margin: auto;"/> <p>総得点</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 100%;"> <p>18 — 9</p> <p>16 — 13</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>7mTC</p> </div>	<p>22</p> <hr style="width: 80%; margin: auto;"/> <p>総得点</p>	<p>駿台甲府</p> <hr style="width: 80%; margin: auto;"/> <p>チーム名</p>
--	---	--	---	--

前半立ち上がり高岡は、リズムの良いボール回しから確実にノーマークをつくり出し、得点する。一方、駿台は激しい接触をされながらも7番のバックシュートで応戦。しかし、駿台は高岡の高いディフェンスラインを割ることができず、攻めあぐむ時間が多くなる。そこで高岡は3番の速攻、サイドシュートを含む3連続得点で流れをつかむ。すかさず駿台はタイムアウトを請求。その後も高岡は速攻などで加点し、前半18対9高岡リードで折り返す。後半、点差をつめたい駿台だが開始1分で退場者を出してしまい流れをつかむことができない。一方高岡は、点差を引き放す展開に持ち込みたいが相手のミスを得点につなげることができない。その後高岡はポストをからめたセットオフenseで加点し、駿台は7番のミドルシュート、3番のサイドシュートなどバランス良く加点し、両者互角の戦いが続く。後半のスコアは残り5分で12対12の同点。前半の得点差が勝敗に響くかたちになり高岡が34対22で勝利をつかんだ。

2015年 3月 26日 AM・PM

記載者氏名 成田 龍生